

○ 平成24年度後期選抜の選考基準

1 第1次選考の方法

調査書	学力検査		比率
2年及び3年の学習の記録の評定	実施教科	合計点	[調査書] : [学力検査]
135点満点	英国数理社	250点満点	5 : 5

2 第2次選考の考え方

調査書の総合所見及び諸活動の記録と学力検査の結果による総合選考

3 第2次選考における選考の方法

(1) 選考資料の扱い

ア 調査書の記載事項の扱いについて

総合所見及び諸活動の記録の活用方法

以下の(i)、(ii)、(iii)の項目に該当する記載のある場合、以下の表のとおりそれぞれ点数化し、合計した点数を **α値 (6点満点)** とする。

(i) 部活動や社会体育などの活動の記録および活動状況

点数	2	1
スポーツ分野	I 県大会以上に出場（競技人口、チーム数が多く枠の少ない種目は地区大会でも可） II IIIでIVに該当するもの	III 地区大会に出場 IV 所見での活動状況が顕著なもの
文化的分野	I 県レベルのコンクールなどに入賞 II IIIでIVに該当するもの	III 地区レベルのコンクールなどに入賞 IV 所見での活動状況が顕著なもの

(ii) 生徒会活動の活動の記録及び活動状況

点数	2	1
生徒会・委員会	I 生徒会長、副会長、その他生徒会役員 II IIIでIVに該当するもの	III 生徒会の各種委員長、副委員長 IV 所見での活動状況が顕著なもの

(iii) 社会的文化活動などの活動の記録及び活動状況と各種検定の取得状況

点数	2	1
校外活動 検定取得	・継続して積極的に取り組み、リーダー的役割を果たした者など ・実用英語技能検定3級以上を取得 ・日本漢字能力検定3級以上を取得 ・実用数学技能検定3級以上を取得	・継続して積極的に取り組んだものなど ・実用英語技能検定4級を取得 ・日本漢字能力検定4級を取得 ・実用数学技能検定4級を取得

※各種検定を複数取得している場合は、最も高位のもの1つについて得点を与えるものとする。

※特記事項の活用方法

特記事項に記載がある場合、その内容は問わず選考の参考資料とする。

後期選抜 （厚木北高等学校／一般コース）

イ 学力検査の結果の扱いについて

学力検査の結果について優れたものを下記の表のとおりに点数化し、**β値**（4点満点）とする。

点数	4	2
内容	<ul style="list-style-type: none">・ 上位30%以内の教科が1教科以上かつ上位50%以内の教科が1教科以上ある・ 上位50%以内の教科が3教科以上ある	<ul style="list-style-type: none">・ 上位30%以内の教科が1教科ある・ 上位50%以内の教科が2教科ある

※上位30%以内、あるいは上位50%以内は、募集人員に対する割合とし、その成績は本校を受検した生徒のものを使用する。

（2）具体的な選考の方法

次の式からS値を算出し、S値の高い者から特記事項記載状況や学力検査の結果を考慮しながら総合選考する。

$$S（10点満点） = \alpha（6点満点） + \beta（4点満点）$$

〈凡例〉

- 調査書の総合所見及び諸活動の記録：**α値**
- 学力検査の結果：**β値**
- 各項目の合計点：**S値**